

チーム医療・コミュニケーション演習

[演習] 第3学年 後期 選択 1単位

《担当者名》 遠藤輝夫 河合祐子（心） 松尾淳司 山崎智弘 江本美穂 田中真樹 竹生礼子（看）
高橋祐司

【概要】

医学・医療の進歩に伴う医療の高度化・専門化によって、患者の治療は医師だけではなく、医療に携わるあらゆる職種がチームとなって治療にあたる「チーム医療」が求められている。臨床検査技師もチームの一員として、臨床検査の専門家の立場から意見、提案することが求められており、その際には他職種の考え・意見を正確に理解し議論するコミュニケーション能力が重要である。本演習では、他職種の業務ならびに医療現場で実際におこなわれている各種チーム（感染制御チーム、栄養サポートチームなど）について理解し、基本的なマナーの取得、コミュニケーション能力や問題解決能力の取得を目指したグループディスカッション、プレゼンテーションを実施する。

【学修目標】

- 1) 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけるために、人と会話をする際の基本的なマナー、問題解決に向けたディスカッションや意見をまとめて他人に簡潔かつ正確に考えを伝える手法について理解する。
- 2) 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけるために、多職種とのコミュニケーション能力、他職種の業務内容や医療現場での各種チームについての内容と役割を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	・チーム医療・コミュニケーション演習全般についてのガイダンス ・チーム医療の内容と役割 キーワード：チーム医療、多職種連携	遠藤輝夫
2	対人援助1	・対人援助者としての基本的な姿勢・態度 キーワード：人間観、援助観、協働関係	河合祐子
3	対人援助2	・信頼関係を形成するために必要な技術 キーワード：信頼関係、コミュニケーション	河合祐子
4 5	社会生活での基本マナー	・社会において人と接する際のマナー ・人と人との関わり、助け合いによる「相互満足」を形成し、信頼関係の構築 ・ロールプレイを通して、場面に応じたマナーを身に付ける キーワード：ホスピタリティ	遠藤輝夫 中井由美（特別講師） 松尾淳司 山崎智弘
6	聴く姿勢1	・積極的傾聴と「聴く姿勢」 キーワード：傾聴、物理的姿勢、心理的姿勢	河合祐子
7	聴く姿勢2	・共感と「聴く姿勢」 キーワード：共感、主観の世界、準拠枠	河合祐子
8 10	医療現場での基本マナー	・病院内において患者様と接する際のマナーを講義とロールプレイを通して理解し身に付ける キーワード：ホスピタリティマインド	遠藤輝夫 中井由美（特別講師） 江本美穂
11	チーム医療の実際	・感染管理チーム（ICT）の内容と役割 キーワード：院内感染、日和見感染、院内ラウンド、スタンダード・プリコーション	田中真樹
12	在宅医療	・在宅医療の内容と重要性、現状 キーワード：訪問診療、訪問看護、地域包括ケアシステム	竹生礼子
13	在宅医療・ベッドサイドの臨床検査 在宅輸血	・ポイントオブケアテスト（POCT） ・院内検査とPOCTの違い ・血液疾患の在宅医療と輸血 ・在宅医療患者の基礎疾患と検査 キーワード：OTC検査薬、簡易血糖測定、尿試験紙、	高橋祐司

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		緊急検査、外注検査、パニック値	
14	臨床検査現場の心理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・院内スタッフと臨床検査スタッフ ・検査部門の上司と部下 ・検査を受ける患者の心理 ・検査を行う技師の心理 キーワード：より良い職場環境	遠藤輝夫
15	まとめ	・全体のまとめ	遠藤輝夫

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート 100%

【教科書】

特に指定しない。授業時にプリントを配布する

【参考書】

- 「臨床検査技師のためのチーム医療教本」 日本臨床衛生検査技師会 監修 じほう
- 「実践 チーム医療論」 水本清久 他著 医歯薬出版
- 「病院職員のためのマナーテキスト」 社団法人日本経営協会 著 社団法人日本経営協会
- 「ビジネスマナー基礎実習」 早稲田教育出版編集部 著 早稲田教育出版
- 「カウンセリング演習」 福島脩美 著 金子書房
- 「マイクロカウンセリング技法 - 事例場面から学ぶ - 」 福原真知子 著 風間書房
- 「マイクロカウンセリング」 アレン・E・アイビー 著 川島書店

【学修の準備】

予習は、次回の授業内容に関連する書籍を読んでおくこと。（80分）

復習は、配付資料を活用し学習を深めること。（80分）

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP1）生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。

（DP3）保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。

【実務経験】

遠藤輝夫（臨床検査技師）、田中真樹（歯科医師）、河合祐子（公認心理師）、竹生礼子（訪問看護師・保健師）、高橋祐司（臨床検査技師）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床現場での実務経験を活かしたチーム医療・コミュニケーションとマナーについて講義する。